

会 報

1998年度

1. 春季大会記事

1998年度春季大会は、6月13日(土)に札幌天神山国際ハウス・1階研修室において開催され、以下の日程により、研究発表、総会、大会記念講演が開かれた(参加者42名)。

●研究発表(午前の部)

高橋 徹: コンビニエンス・ストアの物流システムについて

菊地 達夫(札幌創成高): 野外活動を通じての環境教育の展開 — スキー修学旅行を中心として —

高橋 伸幸(北海学園大・工学部): 大雪山高根ヶ原における湿原形成

●研究発表(午後の部)

大内 定(北海道教育大・札幌校): 豊平川中流域の河岸段丘 — 支流段丘および背後山麓緩斜面との関係を中心に —

大川 隆(動気候研究家): 北海道のヤマセ

なお、菊地達夫氏の研究発表の内容は会誌72号に研究ノートとして掲載され、他の研究発表は今号(73号)に発表要旨が掲載されている。

●総会

1997年度事業報告:

幹事長より1997年度事業報告と決算報告があり、また会計監査より監査報告がなされ、いずれも承認された。事業報告としては、春季・秋季学術大会の開催、会誌72号の発行が報告された。会誌の発行に際して、1997年度総会の決定に基づき、会誌の表紙デザインの変更について幹事会を中心に多方面のデザインを検討し、印刷所の意見も参考に決定し、会誌72号より適用したことが報告された。

1997年度決算報告:

◇通常予算分

(収入)

繰越金	382,638
会費収入	621,000
雑収入	73,260
計	1,076,898

(雑収入内訳: 広告料 70,000 会誌売却 2,000 預金利子 1,260)

(支出)

会誌 No.72印刷費	480,000
著者別刷費補助	50,000
事務費	31,233
通信費	105,560
謝礼	0
秋季大会補助	40,000
会議費	1,750
予備費	398
計	708,941

次年度繰越金 367,957

◇特別会計分 (札幌大学より1997年度春季大会補助)

(収入)

札幌大学より春季大会補助	100,000
--------------	---------

(支出)

封筒等印刷費	32,000
上質紙・宛名ラベル用紙	13,416
会場掲示物作成費・謝礼	9,195
会場運営費(アルバイト代含む)	27,573
会議費	816
懇親会補助	17,000
計	100,000

1998年度事業計画:

まず、開催中の1998年度春季大会のほか、秋季大会について以下の幹事会での論議が紹介された。

「秋季大会は18年来、巡検形式で行っているが、2、3の札幌からの遠方地開催(1982年度占冠巡検、1992年度大雪山巡検)以外は、札幌集合・出発により日帰りで行ける範囲での巡検を行ってきたが、探せば一度も行っていない興味あるところもあるが、おもなところは巡検地として一巡した感があるので、秋季大会巡検については見直すことも必要ではないか。あるいは発想を変えて、たまたま例えば道内の他学会と連合してシンポジウムないし講演会を企画する手もある」

幹事会では具体的な案は固まらなかったが、総会に以上の議論を紹介し、出席者の意見を聞いたが、幹事会に一任するとの意見があり、引き続き幹事会で検討することになった。しかし、折柄、1998年度は9月に札幌(北海道大

学)において日本地理学会秋季大会が開催され、札幌在住の多くの幹事が日本地理学会開催の準備で多忙のため、今回は従来のように巡検形式(幹事長案)で行うことになった。

なお、以下の1998年度予算案が承認された。

1998年度予算案

◇通常予算分のみ

(収入)

繰越金	367,957
会費収入	470,000
雑収入	103,260
計	941,217

(雑収入見込：広告料 100,000 会誌売却 2,000
預金利子 1,260)

(支出)

会誌 No.73印刷費	470,000
著者別刷費補助	60,000
事務費	50,000
通信費	80,000
謝礼	40,000
秋季大会補助	40,000
会議費	7,000
予備費	194,217
計	941,217

顧問の推薦について：

幹事会より、1997年度総会において承認された顧問の推薦に関する申し合わせ(本会の発展に多大な貢献をし、満75歳以上の条件を顧問の推薦の目安とする)により、今総会開催時点で瀬川秀良会員(北海道教育大学名誉教授)が該当する(大正12年1月20日お生まれで満75歳、1973~1974年度期の本会会長を勤められ、本会の発展に尽力された)ので、同会員を本会顧問に推薦したい旨提案があり、満場一致で承認された。瀬川秀良先生はこの時点で本会顧問となられた。現在、岩手県遠野市にお元気で住まいである。なお本会顧問は、これまでになられた佐々保雄先生(北海道大学名誉教授)、沼田武先生、奈良部理先生(北海道教育大学名誉教授)、柏村一郎先生(同左)と合わせ6名である。

●大会記念講演

演者：堀 淳一 氏(地図研究家)

演題：「Alpenvorland の氷河地形を歩く」

大会記念講演は1997年度春季大会において堀氏に同じ題でご講演をお願いしていたが、あいにくご病気のために中止となったため、今回再びご講演お願いしたところ、同じ

題でのご講演をお引き受けいただいたものである。

ヨーロッパ・アルプスの前縁地帯は、険しい山岳地帯より一段高度が低く、かつて氷河期に氷河が拡大した氷河の末端地域に当たり、氷河堆石や氷河擦痕など特有の地形がみられる。氏はイタリア側の南縁地帯、オーストリア側の北縁地帯の両地帯を踏査され、ナマコ上の地形、氷河底擦痕、前縁地帯から望む山岳風景を「6×6判」の美しいスライドにより紹介・解説された。

2. 秋季大会記事

1998年度秋季大会は、10月24日(土)に巡検を中心として次のテーマとコースにより行われた(参加者17名)。

巡検の内容は今号に巡検報告として掲載されている。なお、現地にてご案内とご説明をいただいた栗山町役場・企画調整係長の青山建一氏、たいせつ構証株式会社(木の城・たいせつ)・計画経営部長の三谷弘之氏に感謝申し上げる。

テーマ：「栗山町の産業基盤と町づくり」

コース：J R 札幌駅バスターミナル・中央バス「くりやま号」9：15発乗車ー中央バス大通ターミナル・「くりやま号」9：20発乗車ー道央自動車道経由ー栗山ターミナル下車(10：15着)ーJ R 栗山駅周辺再開発地区見学ー小林酒造(株)資料館見学ー「中央1丁目」停留所・中央バス「由仁・長沼方面行」乗車ー記念館入口下車(昼食)ー「木の城・たいせつ栗山工場」見学(15：45見学終了)ー「角田本通」バス停留所・中央バス高速バス「ゆうばり号」(札幌行)乗車ー札幌着(時計台前17：25、札幌駅前ターミナル17：30)・解散

案内者：進藤賢一(札幌大学文化学部)・大内定(北海道教育大学札幌校)

現地案内：青山建一氏(栗山町企画課企画調整係長)

三谷弘之氏(たいせつ構証株式会社計画経営部長)

3. その他

・会員消息(会誌72号掲載以降)

入会：

稲益寛(所属：日本放送協会帯広放送局 〒080-0015帯広市西5条西7丁目 NHK帯広放送局 自宅：〒080-0847帯広市公園東町4丁目4-13 コーポ三春11-11)、高橋欣吾(所属：北海道教育大学大学院教育学研究科(院) 自宅：〒006-0002札幌市手稲区宮の沢2条5丁目259-127)、船木友和(所属：北海道教育大学大学院教育学研究科(院) 自宅：〒007-0810札幌市東区東苗穂10条2丁目870-31)張貴民

(所属：札幌国際大学観光学部 〒004-0844札幌市清田区清田4条1丁目4-1 自宅：〒062-0052札幌市豊平区月寒東2条10丁目4-10-303)

会員異動：

倉茂好匡(北海道大学大学院地球環境科学研究科→滋賀県立大学環境科学部 〒522-8533彦根市八坂町2500 滋賀県立大学環境科学部環境生態学科), 奥平忠志(北海道教育大学函館校→札幌国際大学観光学部 〒004-0844札幌市清田区清田4条1丁目4-1 自宅：〒062-0041札幌市豊平区福住1条4丁目10-2), 木戸口道彰(旭川東高等学校(退職)→光塩女子短期大学 〒005-0012札幌市南区真駒内上町3丁目 自宅：〒061-3214石狩市花川北4条5丁目124), 藤島範孝(駒沢大学北海道教養部(閉校)→駒沢大学本校 〒157-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1 自宅：〒063-0861札幌市西区八軒1条東2丁目 グリーンピラコトニ C-301), 岡本昌美(進学舎退職 自宅：〒065-0019札幌市東区北19条東6丁目365 奥山マンション202号), 遠藤陳由(札幌琴似工業高等学校(非)→札幌慶祥高等学校 自宅：〒062-0932札幌市豊平区平岸2条1丁目3-10), 藤井享(駒沢大学北海道教養部(閉校)→駒沢大学本校 〒157-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1 自宅：〒158-0082東京都世田谷区等々力3-32-4 グラス・フィールド106), 大谷武史(北海道教育大学大学院教育学研究科(院)→北海道教育大学札幌校(研)), 佐久間直樹(紋別北高等学校→南幌高等学校 〒069-0213空知郡南幌町南13線西9 自宅：〒069-0812江別市幸町17-6 クイート高砂202号)

所属先名変更：

原田実(㈱たくぎん総合研究所→㈱北海道二十一世紀総合研究所)

退会：

伏島佑一郎(工業技術院地質調査所), 今野豊, 関山敦(札幌北陵高等学校)

●学会よりのおもな会誌配布先(交換も含む)

日本地理学会, 人文地理学会, 東北地理学会, 福島地理学会, 北海道立文書館, 北海道立図書館北方資料室, 北海道大学図書館北方資料室, 北海道教育大学本部図書館, 札幌大学図書館, 北海道開拓記念館資料室, 北海道地下資源調査所, 古今書院編集部, 大明堂編集部, シカゴ大学極東文化研究所資料室, 東京都立大学図書館, 国立国会図書館, 地理教育研究会(筑波大学附属駒場中等学校内)

◎ 学会事務局からのお願い

●会費納入のお願い

1999年ないしこれ以前の年度について会費未納の会員

には、円滑な学会運営のため納入につき特段のご協力をお願い申し上げます。納入額のある方は、1999年度春季大会会告通知に同封してお知らせしております。なお、本号と行き違いですでに納入済みの際はご容赦ください。

●所属先、自宅住所の変更について

変更になった会員には、所属先および自宅の住所、電話番号、またFAX、Eメールをお持ちの場合はこれもお書き添えの上、学会事務局までご連絡ください。